

## 中学校時代の思い出

坪内 一 貴 (平成9年度卒業生)

この度は那加中学校創立70周年おめでとうございます。

当時私はバスケットボール部に所属していました。ちょうどそのころ漫画「スラムダンク」が流行っていたこともあり、那加中学校に限らずバスケットボール部への入部希望が大変多かったことを覚えています。かくいう私もご多分に漏れず、その漫画の影響を受け入部したうちの一人でした。

その中でも忘れられないのが中学3年の中体連・市大会決勝リーグ。勝てば地区大会進出、負ければ引退といった大事な試合です。試合時間残り3秒で相手チームが1点リード、まさに絶体絶命の大ピンチ。味方が必死になって奪ったボールのパスを受け、私がシュートを放つと試合終了のブザー。2点のゴールが認められ、見事逆転勝利。まるで映画やドラマのようなクライマックスでした。

でもなにより印象深かったのは、普段バスケで褒めることのない当時顧問だった寺井先生が、勝った瞬間大きくガッツポーズしていたことでしたね。(笑)

### 恩師のたより

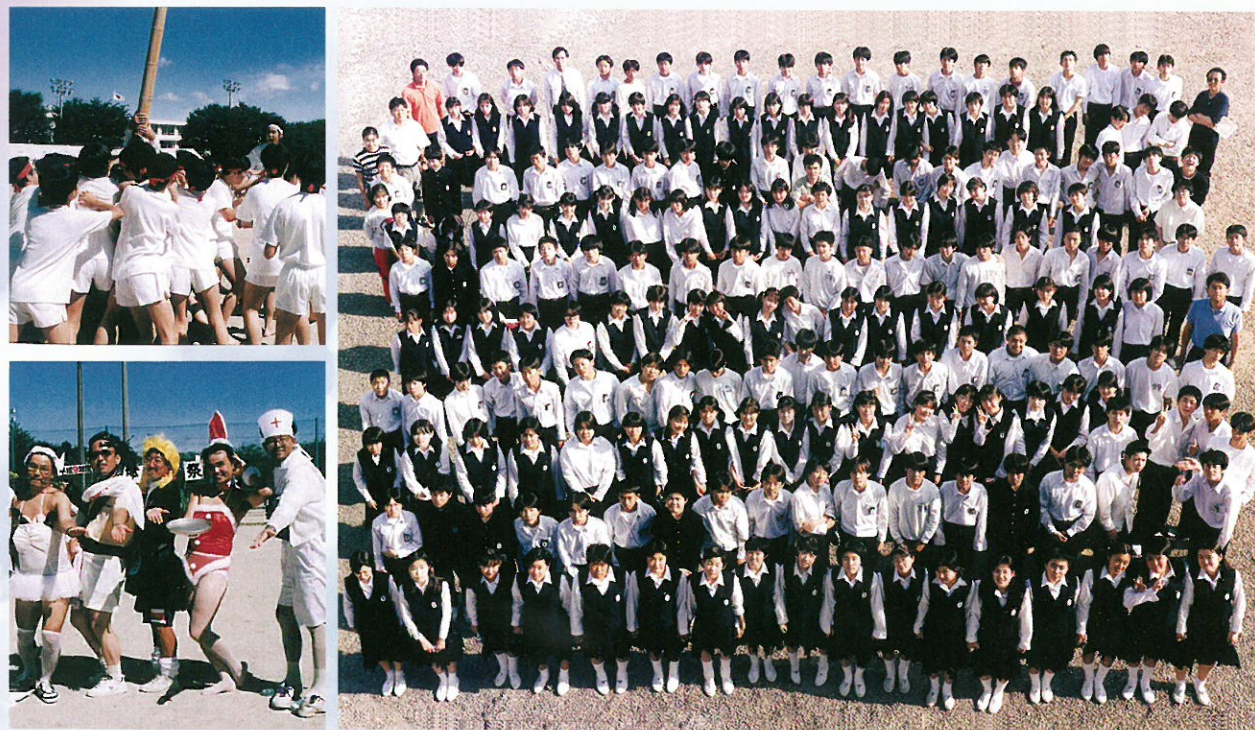
## 那加中ならでは…

上 松 正 信 (平成9年度3年5組担任)

君たちが卒業して、もう20年経ったんですね。今や30代半ばとなり、私が担任していた頃の年齢とほぼ同じですから、仕事や家庭に忙しいながらも、生き生きとした人生を送っていることでしょう。

あの頃の女子はしっかり者、男子はやんちゃ坊主といった印象をもっています。学級や学年内では当然トラブルもあったのですが、それよりも楽しい思い出の方が強いため、『那加中って楽しかった』と、今でもそう思います。その一つが体育祭の『ムカデ競走』や『棒倒し』です。今では『危険な競技』として敬遠されていますが、当時は当然のように豪快にこけ、けがをしながらも息を揃えて取り組むみんなの顔には、清々しい笑顔と満足感が溢れていたことを強く覚えています。

私にとって自由・ちょっぴりやんちゃなイメージの那加中。でも仲間を思いやる生徒がたくさんいるこの学校をこれからも誇りに思っています。



## 当時の思い出

佐藤 理 子 (平成10年度卒業生)

創立70周年、誠におめでとうございます。この記念すべき時を共にお祝いできること、嬉しく思います。

私たちが卒業して早19年経ちますが、多くの同級生は今もこの那加地区に住み、昔と変わらず仲の良い関係が続いています。

昨年、私は主人とこの那加の街で「仲間が集まれる場所」として、小さなハンバーガーショップを始めました。正直、やっつけか不安だらけでしたが、同級生がオープン準備を手伝ってくれたり、家族や友人と食べに来てくれたり、口コミで宣伝してくれたり、多方面で協力してくれ、おかげで店はこの1年順調に営業することができました。この「助け合い」の精神は、まさに中学時代に培ったものです。

日常の授業の中には、班やチームなどで話し合う時間が多く設けられ、班の中で分からない人がいれば全員が理解するまで教え合いました。

部活動では、学年の垣根を越え、目標に向かって互いに励まし合い、時には切磋琢磨しながら毎日の練習に打ち込みました。

この中学時代の貴重な経験が、私たちの大きな財産となり、「助け合い」の精神を作り上げてくれたのです。

数年後、数十年後、私の子供を始め、多くの同級生の子供たちも那加中学校の生徒になります。私たちのように、子供たちもこの学び舎で多くのことを学び、経験してほしいと願います。

### 恩師のたより

## 懐かしき瀬戸内への旅、永尾昌弘 (平成10年度3年学年主任)

那加中学校、創立70周年おめでとうございます。

私が那加中学校に勤務させていただいたのは、平成8年4月から平成11年3月までの3年間です。学年主任をさせていただきました。那加中の生徒は、とても明るく元気だったことを今でも覚えています。学習だけではなく、部活動や生徒会活動にもとても熱心でした。特に印象に残っているのは、3年生の時の修学旅行です。広島方面へいきました。平和の尊さをかみしめながら広島平和記念公園でみんなで作った千羽鶴を納めたこと、みろくの里のアトラクションに絶叫したり…。でも、個人的に最も気に入ったのは、最終日の瀬戸内海クルーズ。天気にも恵まれ、穏やかな瀬戸内海をのんびりクルージングし、至福のひとつきを過ごせました。20年近くたった今も懐かしく思い出されます。

